

## 令和元年度 第1回 タウンミーティング

○開催日時 令和元年9月18日(水) 午後1時30分～午後2時50分

○開催会場 江南市役所 第2会議室

○開会あいさつ

タウンミーティングを始めた当初は、討論会形式で開催しましたが、私一人で大勢から意見をいただくことに限界があり、できるだけ団体の方とお話しする機会を設けたいと思い、開催方法を変更してまいりました。成人の集い実行委員会の皆さん、古知野高校の生徒さん、江南短期大学の生徒さん、また、地域の町内会に出向いたこともあります。それぞれに意見や要望をお聞きしてきました。

今回は、現在取り組んでいる「子育て関係」について、意見を伺いたいと思い、子育て相談などを行っている団体の皆様とのタウンミーティングを開催する運びとなりました。忌憚のない意見をいただきたいと思えます。

皆さんの今の活動状況や問題点、また要望等をお聞きし、今後の市政運営への参考になればと思い、お集まりしていただきました。それぞれの立場でお話しただければ嬉しく思います。どうぞよろしく申し上げます。

○各団体参加者と市長の意見交換

**市長**

それぞれの団体のことで知らないこともありますので、主な活動内容などを教えていただきたいです。

また、活動を通じて感じたことや問題などをお話しいただきたいと思えます。

**江南子育て探検隊ここたん参加者**

ファミリー・サポートを中心に活動しており、月1回、3カ所の子育て支援センターでボランティアをしています。その中で、子育て支援センターは知っていても、ファミリー・サポートの活動内容や利用方法を知らない方がいます。せっかくあるシステムを上手に使い切れていないところがあるのではないかと感じています。

また、ファミリー・サポートの援助する側の手数が減っており、一人で3、4人抱えている状況です。全員にきちんと手を差し伸べてあげることができないという面で、現状の体制が改善できないかと思っています。

## 市長

ファミリー・サポート・センターとしても日常の業務が忙しく、PR できていない面があると思いますので、市で取りまとめてPR していかなければいけないと思います。学童保育や保育園なども含めて全体でPR し、江南市なら安心と思っていただけるようにしていきたいと思います。

PR 事業は、大切ですし、援助する側の人手が足りていないということですね。

## 飛高親の会参加者

近所付き合いや町内会のつながりから支援を必要としている子どもや家庭を探し、支援していきたいという思いで活動をしています。イベント、勉強会、サークル活動などを行いますが、派手なものではなく、子育てに関する毎日の不安やストレスを日々の生活の中で発散できるように、仲間づくりや、地域の仕組みづくりの活動を続けています。しかし、地域との連携は難しく、また、お母さんたちの子育てへの価値観や環境も変わっているので、私のような個人と小さな団体に何ができるかを考えているところです。

生涯学習課の家庭教育推進では、子育ては家庭教育が中心となっていますが、一時預かりの保育園や病児保育、学童、休日保育などの預ける保育を要望する声を聞きます。お母さんの支援に集中していて、子ども目線で考えると疑問があります。

それと不登校や外国籍、発達障害の子どもの支援が早くからできないかと思えます。また、保育園は正規職員が勤めていますが、学童はパート職員によって運営されていますので、学童の職員の待遇が改善できないかと思えます。

## 市長

飛高町は、市内でも大きな地域であります。防災のことに對して非常に熱心です。防災に関しては、やり過ぎということありません。リーダーがお見えになって、地域活動が盛んだから「飛高親の会」という他の地域にない組織ができたと思います。防災は防災担当に、町内の行政は区長さんに担っていただき、子ども会やPTA と連携が取れば、さらに良い地域になると思います。ぜひ模範を見せていただいて、こちらからもPR させていただけたらと思います。

## おかあさんのほっとタイム参加者

私たちは、子育て中のお母さんたちが“ほっと”できるよう、先輩のお母さんが

何か支援できることがあればということで発足しました。しかし、なかなか参加者が集まりません。講演会は参加者も多いですが、初心に帰って相談活動をやっ  
ていこうと計画したところ、申込はありませんでした。

また、活動の中で聞いたのは、お父さんがイライラしているということです。  
先日の親子のハッピースポットにそのお父さんに参加してもらったところ好評  
でした。イクメンパパなどのイベントはあるのですが、お父さんの悩み相談はど  
こで把握しているのかと思いました。

市長

相談につきましては、市民相談がありますが、市民相談は具体的な内容になる  
かもしれません。

集客につきましては、興味があり積極的な人だけが参加して、本当に支援やア  
ドバイスを必要としている人に参加してもらえないのはジレンマがありますね。

おかあさんのほっとタイム参加者

YOU・輝（適応指導教室）の相談員をしていたときに、子どもたちを見て感  
じたことは、自分の気持ちを表現できない、黙ってしまう子どもが多いというこ  
とです。研修を受け、活動で感じたことは、子どもよりも問題を抱えているのは  
親で、いじめられている子どもよりもいじめている子どもの方が問題を抱えて  
いるということです。そのケアをしていただきたいと思っています。

それと、私も先輩のお母さんにアドバイスをもらい、とても自分の気持ちが楽  
になったことを原点に活動を始めたのですが、広報活動が悪いのか、なかなか伝  
わらず、うまくいきませんでした。

市長

不登校やいじめは、百人いれば百人の理由があるので、共通のアドバイスをす  
るためには、スキルをしっかり積んだ人たちでないと難しいと思います。これだ  
け世の中で言われていても、いじめはなくならず、いじめている方は自覚がな  
いかもしれません。

自分を表現できない子どもが多いという話がありましたが、不登校の子が演劇の  
世界に入り、演じることによって自分を表現することを覚え、ずいぶん変わった  
ということがありました。そういった機会やアドバイスができる人が常にいて、  
いつでも相談できると良いですね。せっかく皆さんお集りなので、総合窓口のよ  
うなものがあると良いのかもしれません。

### 江南市国際交流協会ふくらの家参加者

4月に入国管理法が変わり、外国籍の方が増えると思っていたが、しばらくは増えませんでした。しかし、7月から増加し、「ふくらの家」(国際交流協会の活動拠点)の日本語教室も一杯な状態です。大人が入ってくるということは、子どもも入ってくるということで、子どものサポートも大変だと感じています。

外国籍の方には、教育課から「ふくらの家」を紹介してもらい、夏休みの間、勉強して学校へ送り出しました。また、これまで外国籍の方は江南団地や宮田に多いと言われていましたが、長く住まれる方は、分譲住宅を購入し、布袋校区や古知野東校区などにも点在していて、学校も大変だと思います。

それと、国際交流協会ではどうしてもできないことがあります。中学校を卒業せず、日本に来た過年齢の子(学齢期を過ぎた子)についてです。外国と学校の制度が違うため、学校にお願いに行っても、学齢期を過ぎているということで就学できない場合があります。せめて中学校を卒業しないと次への進路がないため、過年齢の子についてもケアしていただけたらと思います。

### 江南市国際交流協会ふくらの家参加者

国際交流協会としての子育て支援で、外国籍のお母さんたちの居場所づくりをしています。日本語教室に参加しているお母さんたちが、そろって妊娠され、子どもを連れて日本語教室で勉強したいけど、迷惑になるから参加できないという話からこの支援を始めました。

今年度から愛知県の委託事業として支援を行い、委託事業として行う9回分は費用が賄われますが、毎週行っているため、活動拠点の家賃を含めて活動資金が足りません。働いていないお母さんたちから会費を取るのには難しく、行政で予算をつけていただけるとありがたいです。また、外国籍のお母さんたちが地域とコミュニケーションが取れるようになってほしいと思いますが、保育園が無償化になり、お母さんたちが仕事に行ってしまうことで、さみしい思いをします。

先程、問題を抱えているのは親という話がありましたが、今のお母さんたちは昔のように地域とコミュニケーションが取れず、仕事で限られた時間の中で、近所付き合いをしていくことに苦労していると思います。

### 市長

子育て中のお母さんたちは、なかなか参加できないかもしれませんが、高齢者のサロン活動では、月1回100円で開催しているところもあります。昔のよう

に地域で情報交換をする機会がないので、江南市のイベントの中で、ブースを作って発表やチラシを置いたりできると良いかもしれませんね。

#### 飛高親の会参加者

サロンやサークルの開催を3、4年前に社会福祉協議会と試みましたが、平日は子どももお母さんもいません。働いている方が多く、子育て支援センターで十分だという方が多いです。サロンやサークルは、一人100円集めて体操しましょうとか、ボランティアの方のお話を聞きましょう、というのが私のイメージですが、今のお母さんたちは3,000円、4,000円でも出してお料理教室に行くというイメージだと思います。外に出る意識がある方はそうしますが、そうでない方は子育て支援センターを利用する程度で、乳幼児向けサロンの開催は困難でした。

#### 市長

試みたけれども、難しかったということですね。

児童館が無料でそれに近いことをやっています。お遊び会を開いたり、お菓子を配ったり、そういうことをしないとなかなか来てくれないですね。

#### 特定非営利活動法人子どもと文化の森参加者

2歳児の教室はあちこち潰れて、いま2カ所ですか。2歳児の段階で、みんな保育園、幼稚園に通っていて、年によって子どもが何人集まるのかが変わってきます。本当にフリーでいる子どもは江南市全体で20人、30人程度だと思います。

#### 市長

保育園に入るのが大変だから、3歳未満児から預けなければならないというような、いわゆる場所取りみたいなことはありますか。

#### 特定非営利活動法人子どもと文化の森参加者

あります。

私たちはサロンもやっていますが、来るのは、まだ産休中の方で赤ちゃんを連れてきます。

お母さんは、もちろん一緒に来てくれます。サロンに来るのはまだ歩かない赤ちゃんが中心です。そこを狙って行かないと人は集められないですね。

#### 市長

幼児教育・保育が無償化になり、今まで努力して、やっぱり子育ては自分でし

たいというお宅が、今は預けなければ損というような考えがどこかにあると思います。

#### 特定非営利活動法人のいちご参加者

0歳から育児はとても大事です。初めて0歳を育てるお母さんに知識はありません。昔は地域にアドバイスをしてくれる人がいましたが、今は孤立しています。インターネットではたくさん情報があり、何を信じて良いのかわからないと思います。一つの情報を信じて、誤った育児を行ってしまうということがあります。そうすると、お母さんがある年齢まで、育てなさいというのは酷です。子どもは子どもの中で育てる、知識を持っている大人がいるところで育てることが必要だと思います。

#### 市長

核家族化が進み、相談できる環境がなくなってきているので、きちんとケアできる人の元で子育てを行うことも必要ですね。

#### 特定非営利活動法人のいちご参加者

認可外保育施設で預かり、小学校へ進んだ子どもたちの追跡調査をすると友達ができ、みんな元気に通っています。ただし、学校の先生とうまくいかなかった子など、つまづく子もいます。私たちが預かっていた中でも、そういうことがありましたので、学校でも信頼できる大人がいるということは大事です。学校でもそういった子へのケアをお願いしたいです。

#### 市長

1クラス30人ほどの子どもがいて、全員が違うわけですから難しいですね。

危険なことをした子どもに強い口調で注意すると、外から見た人は、パワハラじゃないかとか。一人一人違う中で、その子の見方を固定せず、広く受け入れていくという姿勢が大事ではないかと感じました。

#### 江南市国際交流協会ふくらの家参加者

4月の入国管理法の改正により、江南市でも日本語ができないお子さんが増える可能性があります。国際交流協会にその言語がわかる者がいない場合、どんな支援ができるかは手探り状態です。先日ベトナムの方が、江南市に引っ越してきて、なぜ引っ越してきたのかを聞いたところ、ベトナム家族のコミュニティーがあるそうです。コミュニティーを頼って、ますます増えることが予想されること

から、市でも子どもや親の支援をしていただけたらと思います。

#### 特定非営利活動法人子どもと文化の森参加者

親子で体験する企画をしていますが、人が集まりません。友達同士でないと参加しにくいという方もいて、個人で参加しやすい企画を考えています。

0歳、1歳の子どもがいる方へのPRが課題だと感じています。

私は、ボーイスカウトの活動もしていますが、家でできない体験をさせてあげたいと思っています。親が危ないと感じるものは避けたいと思うのか、または親自身に体験したことがないためか、子どもに体験させる機会が減っていると感じています。そういった方に体験の必要性を伝えることが難しいです。

#### 市長

保育園の運動会でも、落ちて大丈夫なようにマットが敷いてあって、先生が付きながら競技するといったように多少過保護に見えることはあります。大きな事故につながってははいけませんが、擦り傷程度は、転ぶと痛いということを感じることも必要かと思います。

ホームページを拝見しましたが、泥んこになって遊んでいますよね。

#### 特定非営利活動法人のいちご参加者

この辺りは平野ですから、起伏が少ないので、あえて土を入れて起伏を作って、泥んこになって遊ばせています。

#### 市長

あれは良いなと思いました。保育園にもないですからね。

#### 特定非営利活動法人子どもと文化の森参加者

表現できないお子さんがいるというお話がありましたが、私たちはコンサートやお芝居をしています。今のお母さんたちは、自分が体験していないことを子どもに体験させることに抵抗があったり、知らなかったりするのだと思います。

子どもは何に興味をもつか分からないので、お母さんたちは安心、安全だけを指すのではなく、子どもに色々な経験をさせてあげて欲しいと思います。

また、私たちは一時預かりの活動もしていて、0歳児の託児や、障害のあるお子さんの預かりもしますが、周知が行き渡っていないと感じます。行政側からも困ったことがあったら、相談していただけたらと思います。

### 特定非営利活動法人子どもと文化の森参加者

コンサートやお芝居の鑑賞の話がでましたが、鑑賞は心を耕すことができると思います。選択するのは子どもたちですが、私たちとしては、色々な体験ができる場を用意していきたいと考えています。

それと保育園の先生たちも大勢の子どもを預かって大変だと思います。人的労力もかかりますし、環境も求められて、それがヒートアップしているように思えます。働くことも大事ですが、子どもの幸せを一番に考えられる江南市、社会であってほしいと思います。

### 市長

まだまだ言い足りないこともあると思いますが、タウンミーティングでなくともその都度お声掛けをいただければと思います。

今回のタウンミーティングを通じて、もっと PR できる場所の必要性、また、多くの方に知ってほしいということが分かりました。

また、皆さんのように子ども目線で考えるということが、一番大切だと感じました。またお力を借りて、本当に支援が必要な方に、支援が行き届くような体制をとってまいりたいと思います。

本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。